

す。「もう、卒業」なんて！今になってみれば「あ！」と言っ間でした。

宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』に、「こんなくんだりがあります。「ほんとうにどんなつらいことでもそれがただしみちを進む中でできごとなら峠の上りも下りもみんなほんとうの幸福に近づく一あしずつですから」。賢治の作品が広く知られたのは、没後のことです。生前は、ほぼ無名でした。それでも筆を持ち続けた賢治の自負が、先の文章に凝縮されているように感じます。

ここを読むと、雪晴れの朝、一面の雪の上をみんな歩いていました。しばらく進んだところで、ふと振り返ると、真っ白な雪道に刻まれた自分たちの足跡が光って見えました。ふと思いました。「進む道がどんなに大変だとしても、生徒一人一人が、自分に負けずに一歩一歩、精いっぱい頑張ってきた足跡ではないか」と。そして、思い出深い三年間を振り返り、三年間を糧に「将来の夢に思いを馳せます。」

沖繩の童歌「ていんさぐぬ花(鳳仙花)」の一節にこのようにある。——天ぬ群星や読みば読みしが 親ぬゆし言や 読みやならん(天に群



体育祭 騎馬戦



3 学年担任
1組 飯塚先生 2組 川島先生 3組 島田先生 4組 田村先生 5組 川村先生

れなす幾多の星でも数えることは出来るが、親の教える事は数えられないほど限りがない。各担任は、保護者の皆さんと一緒に、まだまだ生徒に教えることが沢山あります。保護者の皆さんと歩んだ三年間が懐かしく思い起こされます。最後に私たちが生徒に願うのは、父母の恩、師の恩、すべての恩を忘れない人にと願います。



「うさぎとかめ」から学ぶこと

学習指導部長 田村 佳一

童話「うさぎとかめ」で、なぜ、うさぎは負けて、かめは勝ったのでしょうか。うさぎは油断して、「ここらでちよつとひと眠り」とさぼってしまい、かめはこつこつと歩み続けたから。というのが一般的です。

元サッカー日本代表監督の岡田武史氏は、この勝敗について次のように言っています。「うさぎはさぼっていかめは負けたといいますが、違うのです。うさぎはかめを見ていたから、負けたのです。対して、かめが見ていたのは、『ゴール』でした。良い結果を残す人はみんな高い志や夢を持って居るのです。」

一つ勝敗を分けたものがあると思えます。それは、『自分の良いところを発揮できたか』ということです。うさぎは結局足の速さを生かせませんでした。かめは、「世界のうちにおまへほど 歩みののろいものはない」と言われながらも、脇道にそれず、着実にまっすぐ進むねばり強さを発揮しました。

教育は、共に育つ「共育」であるとも言われます。私たち教職員も学校生活の中で生徒からたくさんのお話を聞かせてもらったり、廊下で気持ちの良い挨拶を交わしたり、掃除に一生懸命取り組む姿を見て、清風生は素晴らしいと感じます。また、部活動や体育祭、マラソン大会、研究発表会などの行事で、清風生から多くの感動をもらいます。これからもそんな素晴らしい清風生が、こつこつ努力を続け、ゴール・目標に向かって、自分の良いところを伸ばし、発揮できるように後押ししていきたいと思えます。

事故を未然に防ぐために

交通指導担当 深沢 寛是



今年度は本校生の事故が多発し、ご心配をおかけしております。事故に遭わないように注意して登校・下校するように声をかけているのですが、自転車の並進、スピードの出し過ぎ、さらには飛び出しなど、危険な運転が後を絶ちません。自分自身はしっかりと事故に遭わないだろう、という根拠のない自信があるのかもしれない。

事故は未然に防ぐという観点から、事故により重要な点があります。事故というものは取り返しがつかないものもあります。治らない大けがをしてしまったり、ましてや死んでしまったりなどということがあってはなりません。

また、事故に巻き込まれてしまふということもあるかもしれません。例えば、路地から前方不注意な自動車が飛び出してきて、自分の運転している自転車につけられてしまふかも知れません。その場合、相手の不注意を責めることはできるかも知れませんが、そのときに取り返しのつかない事態になっていたらどうでしょうか。「前方不注意なクルマが飛び出してくるかも知れない」と思って、左右確認してから路地を横切っていれば、そんなことにはならなかったでしょう。

事故を未然に防ぐということは、自分で自分の身を守るということであり、「事故に遭わないだろう」という確率論ではないのです。だからこそ、普段から交通ルールを守るよう指導していくことが重要だと考えております。



「明るい兆し」

進路指導主事 清水利夫

清風六期生の進路希望内訳は、次のとおりです。(十月末現在)

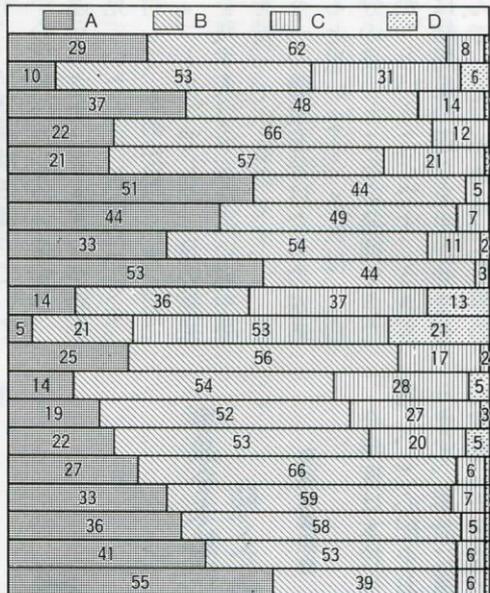
Table with 4 columns: 進路区分, 男子, 女子, 計. Rows include 四年制大学, 短期大学, 専門学校等, 進路未定者, 就職者, 自己就職, 卒業予定者.

高校生の進路希望調査より、平成十九年の高校生の進路観は「夢の価値を重視する」という考え方が、前年より増加している。また、「夢の価値を重視する」という考え方が、前年より増加している。

の内定率も上昇しています。経済状況の好転が徐々に感じられるようになり、就職は製造業がほとんどです。就職希望者の三割は、十月末の内定率はほぼ100%達成。今後も買い手市場が続く見込みです。

1年 回答数 199

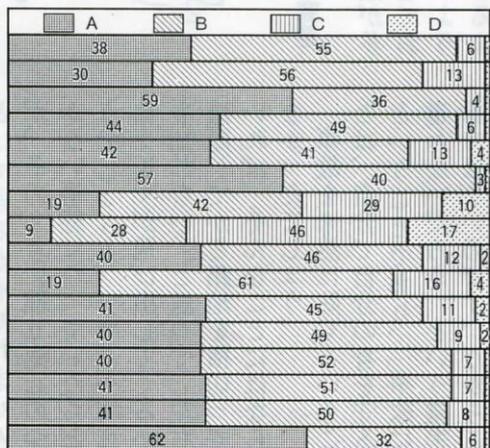
Table with 2 columns: No., 項目. Lists 20 items related to school activities and PTA involvement.



注：グラフの中の数字は、割合(%)を表す。 A：あてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

2・3年 回答数 383

Table with 2 columns: No., 項目. Lists 16 items related to school activities and PTA involvement.



全項目とも2年・3年の保護者共通です。

「保護者アンケート」の結果

十一月下旬にご協力いただきましたアンケートの集計結果をご報告いたします。回答数は五八九名で回収率九八・三%（昨年度九九・五%）でした。

割合(%)です。評価Aと評価Bの合計が全体の八三・一%（昨年度は八二・六%）を占め、全体としては評価の値が昨年より向上しております。

評価をいただくことになっております。その結果も踏まえ、よりよい学校づくりのために努力をさせていただきます。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。